

マリンビジョン女性交流会議 かわら版



第17号 2024年3月発行



マリンビジョン女性交流会議かわら版では、交流会議の活動内容、地域での活動内容、新しい情報などをお伝えします。皆さんで知恵を出し合って、活動の輪を広げていきましょう！

令和5年度 MV 女性交流会議が開催されました！

開催概要

【出席者】

中央大学研究開発機構教授 片石温美委員長をはじめ、8名の女性委員、各地域のオブザーバーが出席しました。

【概要】

本年は、札幌での意見交換と現地調査の2部構成で実施しました。

昨年度に引き続き、「海業振興に向けた地域の取組・女性の関わり」をテーマとし、海業に関する先進的な取組を実施している福井県高浜町産業振興課の中村広花主事によるご講演、及び各地域の海業に関する取組状況や、今後の展望について討議を行いました。

また、翌日は委員・オブザーバー合わせて10名が参加し、福井県高浜町高浜漁港6次産業施設「UMIKARA」(うみから)、及び小浜市「ブルーパーク阿納」において現地調査を実施しました。



会議名：令和5年度マリンビジョン女性交流会議
日時：令和5年11月6日(月)14:00~17:00
場所：TKP ガーデンシティ札幌駅前ホール 3B
開催形式：対面及びWEB会議形式

【委員名簿】

	氏名	所属・役職	意見交換	現地調査
委員長	片石 温美	中央大学研究開発機構 教授	○	○
委員	太田 美香	遠別漁業協同組合 女性部長	-	-
委員	米森 みゆき	北るもい漁業協同組合 苫前支所 女性部長	○	○
委員	木村 都久子	寿都町漁業協同組合	-	-
委員	松村 江身子	福島吉岡漁業協同組合 吉岡地区女性部長	-	-
委員	北川 洋子	室蘭漁業協同組合 女性部長	WEB	-
委員	松本 真紀	いぶり中央漁業協同組合 虎杖浜地区女性部長	-	-
委員	高野 恵里子	ひだか漁業協同組合 三石地区女性部長	○	○
委員	川村 真弓	大津漁業協同組合 女性部長	-	-
委員	堀 陽子	厚岸漁業協同組合 女性部長	-	-
委員	山形 由紀子	落石漁業協同組合 女性部長	○	-
委員	田仲 雅子	歯舞漁業協同組合 女性部長	○	-
委員	松田 真弓	羅臼漁業協同組合 女性部長	-	-
委員	畠山 美佐	ウトロ漁業協同組合 女性部長	○	○
委員	川口 睦子	常呂漁業協同組合 女性部長	○	○
委員	花松 邦恵	雄武漁業協同組合 女性部長	WEB	-
委員	濱田 武士	北海学園大学 開発研究所長	-	-
主催者委員	的野 博行	北海道開発局農業水産部 水産課長	-	○
主催者委員	中村 雅博	北海道開発局農業水産部水産課 課長補佐	○	-

講演「高浜町におけるまちづくりと『海業』」

福井県高浜町産業振興課主事 中村 広花



高浜町 中村主事

続いて、海業に関する先進的な取組を行っている福井県高浜町より、高浜町産業振興課 中村主事をお招きし、「高浜町におけるまちづくりと『海業』」と題してご講演いただきました。

○高浜町における海の6次産業化プロジェクト

一番目指すべきところは、沢山のの人に地元のお魚を食べていただくこと、魚食離れを食い止めるためには、食べやすいお魚の商品を開発することが必要だと考え、加工事業強化のため「はもと加工販売所」を立ち上げた。1次産業から3次産業の機能を集約した6次産業施設「UMIKARA」を中心に、高浜漁港の6次産業化を進めている。

○高浜町における海業への取組…海業のために新しいことを始める必要はなく、既存の取組が海業として位置付けられる。これまでやってきた取組をステップアップさせたり、パワーアップさせたりすることが、さらなる海業振興に繋がる。

○今後の海業振興の方向性…一年中観光客に来ていただけるために周年観光の構築や、海業資源をどのように発掘して商品化するか、また近隣市町との連携をどのようにしていくかを検討したい。さらに、漁家収入を向上させるため、イベントや教育旅行の受け入れ対応などによる新たな収入源を検討したい。

○まちづくりとともに…町が本気で水産業や漁業に取り組んで、それを“まちづくり”と捉えることがキーワードになると思う。海業は、水産業に携わる人たちだけでなく、観光業や商工業の視点も必要となる。町内全域の横の繋がり、近隣市町との横の繋がりがあって、海業振興はどんどん発展していくと考えているので、漁港以外にも海を活用した色々な構想、計画を作ることが必要。

○人は資源…その地域の“人”が観光産業の要であり、差別化の元となる地域資源。まちづくりは、その地域の人たちが“自分事”にしていくことが大切で、“人”が資源となることを共通認識にして、自分たちの漁港や漁村の活性化は自分たちの住まわちの活性化に繋がるということを確認する必要がある。



高浜漁港のイメージ図

討議「各地域の活動状況について」

事務局よりマリンビジョン女性交流会議の概要について説明した後、各委員から地域の活動状況、海業に関する地域の取組及び将来構想について報告していただきました。各地域で清掃活動や食育活動を通して精力的に活動する様子がみられました。

※急遽欠席のため、遠別漁協浪川管理課長が代理で報告

太田委員【遠別】

- 年 2 回の清掃活動、小学校への出前授業を実施。
- 海業に関して、ふるさと納税の返礼品として煮タコの荷造り等や、道の駅での鮮魚販売を実施。
- 地域の農業、酪農と連携して教育旅行受入事業を検討中。



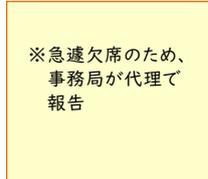
米森委員【苫前】

- 今年は風車まつりが実施できて、約 6,000 人の来場者があった。
- 海業に関して、「苫前温泉ふわっと」で農水産物等の直売所を整備。(R5 年 4 月)
- 保育園児対象にヒラメの稚魚放流を実施。また、旭川食べマルシェでホタテ稚魚の酒蒸しを提供した。



北川委員【室蘭】

- 植樹活動、海浜清掃、地元高校への出張料理教室等を実施。
- 海業に関して、朝市で魚の販売を行った。
- 噴火湾と太平洋の二つの地域で女性部の活動が分かれているが、一緒に活動できることがないか検討中。
- イベントに漁協が出店する際に女性部もお手伝いしたい。



松本委員【登別・白老(虎杖浜)】

- 胆振管内女性部で徳島県の漁港を見学し、現地の女性部と交流。
- 室蘭漁協女性部と一緒に学生向け食育授業を実施。
- 海業に関して、5~7 月の間、登別漁港、白老港、登別市観光交流センター「ヌブル」で朝市、夕市を開催し、女性部は干物や生魚を販売。



高野委員【三石】

- 漁港清掃、小中学校での出前授業を実施。
- 今の若い人は魚を捌けない人が多いので、女性部で捌き方講習を開きたい。
- 若い人たちは海業に興味を持っているので、後継者育成のために今回の会議や現地調査の内容を伝えたい。



山形委員【落石】

- 根室市において漬物教室を開催した。コロナの間も継続して実施しており、毎年好評を得ている。
- 海業に関して、4 年ぶりに「おいしい味まつり」を開催し、約 5,000 人が来場し大盛況だった。
- 女性部員の高齢化が進んでいるが、お嫁さんとうまく世代交代してくれている部員も多い。



田仲委員【歯舞】

- 毎年恒例だった昆布料理発表会がコロナで中止となっているため、Youtube などで昆布料理を紹介してコンプ普及に努めたい。
- 海業に関して、「歯舞こんぶ祭り」を開催した。
- 令和 4 年に完成した海業支援施設では、昆布製品の製造見学や海業学習のほか、直販施設での昆布製品販売も行っている。



畠山委員【ウトロ】

- 知床ウトロ学校の網起こし体験にあわせて、知床財団による「木育」の授業を行った。
- 婦人部食堂は旅行支援の影響で多くのお客さんが来訪し、大変忙しかった。
- 海業に関して、「知床トコさん」の婦人部食堂バージョンの缶バッジを作成したので、今後お客さんにプレゼントし、知床を PR する予定。



川口委員【サロマ湖】

- 漁港清掃、オホーツクおさかな普及・調理講習会参加、植樹山林視察研修旅行等を実施。
- 海業に関して、常呂漁協直営店での水産物直売や、イベントでホタテ玉冷販売を行っている。
- 今後もお魚普及活動に励み、女性部員の加入促進運動を行いたい。



花松委員【雄武】

- 2 年に 1 度のペースで生活クラブ消費地交流会があり、今年は横浜で魚食普及活動を行った。また、横浜から生活クラブの方が雄武に来た時は、秋サケ漁を見学してもらった。
- 海業に関して、植樹活動と、保育所及び小中学校の給食にホタテやマス、サケを無償提供している。

フリートーク（海業振興に向けた地域の取組・女性の関わり）

高浜町の海業に関する講演や感想、また、各地域で活動に取り組む上での問題点や課題について、フリートーク形式でお話しいただきましたので、一部ご紹介します。

<漁村地域における女性の活動について>

- ◆それぞれの地域の方々が活発に活動されていることを羨ましく思った。女性の方々の気配りやおもてなしは、観光面でもとても重要になってくる部分である。学校に行って普及活動をされる場合も、丁寧なご指導やお話が子供達や先生方に伝わっているのだと思う。(高浜町・中村主事)
- ◆ウトロ地域の定置網では女性は基本一切シャットアウトだが、今年女性の漁師が誕生したため、もう少し人数が増えてくれれば良いと考えている。(畠山委員)
- ◆噴火湾のホタテ養殖では一緒に船に乗る奥さん方が結構いる。女は出てくるなというのはおかしいと思う。(北川委員)
- ◆魚種によると思うが、漁も人手が少なくなってくると、女性の手を借りなければまわらない魚種もあるのだと思う。(高野委員)
- ◆これまでのマリンビジョンの活動そのものが海業振興であると思っている。新たな地域マリンビジョンを作っていくにあたっては、女性部の方達も積極的に関わっていただきたいと思う。(片石委員長)



根室市・輪島主事 積丹町・松浦主事



会議の様子

<行政の関わりについて>

- ◆根室地域には漁協、漁港が複数あり、行政としては均一的に支援していきたい。根室全体で地域振興を進めるには、高浜町の取り組みは大変参考になった。(オブザーバー 根室市・輪島主事)
- ◆積丹町では、隣町の古平町とともに広域漁協の東しゃこたん漁協となっている。本所が古平町にあるため積丹町の漁港に対しての支援に難しさはあるが、開発局や道庁、水産庁と一緒に民間も含めて海業の取組を進めている。ブルーカーボンプレジットに申請しており、それも海業の一つになればよいと考えている。(オブザーバー 積丹町・松浦主事)
- ◆複数の漁協が合併して今の若狭高浜漁業協同組合となったが、地域振興を進める上で、中心となる場所から波及させていくことが必要である。“まちづくり”として位置付けて、各省庁や各管理者に理解していただいた上で進めている。(高浜町・中村主事)
- ◆各地域の取組報告を聞いて、十分取り組まれているという印象を受けるので、それをどう位置付けていくかは行政等の頑張りがもう少し必要だと思う。(高浜町・中村主事)
- ◆取組を進める上で、はじめは漁業者からの反発があったが、毎日挨拶に通い地道に活動を続けた。行政として、自分がこの人たちのために何ができ、どうしていきたいかを一生懸命考えてやっていくことが必要だと思う。(高浜町・中村主事)

<海業に関する今後の将来展望や現状・課題について>

- ◆魚を捌けないが興味はあるという若い世代はいるので、捌き方を教えたり、出前授業の内容などを伝えて後継者を育成したい。(高野委員)
- ◆漁業に関係のない人も女性部に入っている。部員は皆それぞれ忙しいので、無理強いせずに来る人がやればよいと思う。(米森委員)
- ◆女性部は高齢化が進み人数が減少しているが、今は個人の活動に関する考えや趣味などを優先したい人も多く、全員参加は難しい。今は農家のお嫁さんも農家で働かない人が多く、漁業もそうなりつつある。(川口委員)
- ◆歯舞漁協女性部は一軒の漁業者から必ず奥さんは女性部に入るといった規約があるため、部員300人の大所帯である。人数が多いので本部の役員として上に立つ人が必要だが、なり手がいないことが問題である。(田仲委員)
- ◆若いお嫁さんは他の仕事に就いていて漁業にタッチしていない人が多いので、女性部に加入してもらうのは難しいと感じる。また、ウトロ地域でイクラを加工屋さんに依頼しているのを聞いて、自分たちでの加工に限界があると感じていたの、そういうところを利用する必要があると思った。(北川委員)
- ◆新規事業を立ち上げるのは難しいので、まずは今までの活動を受け継いでいくことに主眼を置きたい。また、部員が少ないため、部員以外の方にも活動に参加して手伝ってもらえるよう周知をしたい。(花松委員)

<主催者より>

- ◆地域振興が成功しているのは、地域に中村さんのようなキーマンがいるということが大きく、アイデアと行動力が重要。
- ◆地域に滞在できる場所を作り、さらに食事や体験を組み合わせ、いかに地域にお金が落ちる仕組みができるかを考えて進めていくとよいと思う。
- ◆体験は非常に重要なパーツで、非日常を感じるためにはその地域に行き、そこでしかできないような体験をしたいという方がいる。地域にある資源をよく見つめ直してみると、アイデア一つで売れるものがあるかもしれないので、女性の視点で検討してほしい。(日置部長)



海業振興に関する先進地調査 福井県高浜町高浜漁港・小浜市内外海漁港

現地調査の概要

日 時	令和5年11月7日(火)
調査内容	<高浜町 高浜漁港> ①シーフードマーケット「UMIKARA」 ・「うみから食堂」にて昼食 ・「UMIKARA MARKET (うみからマーケット)」見学
	②はもと加工販売所 ・加工場及び販売所見学
	③若狭高浜漁業協同組合荷さばき所 ・荷さばき施設見学、意見交換
	<小浜市 内外海漁港> ・「ブルーパーク阿納」見学、意見交換

意見交換翌日は、海業に関する先進的な取り組みを実施している福井県高浜町高浜漁港「UMIKARA」、及び小浜市内外海漁港「ブルーパーク阿納」にて現地調査を行いました。

高浜漁港では前日の意見交換で講演していただいた中村主事の案内のもと、「シーフードマーケット『UMIKARA』」や「はもと加工販売所」、「若狭高浜漁業協同組合荷さばき所」を見学しました。続いて向かった小浜市「ブルーパーク阿納」では、体験施設を見学後、体験民宿の「民宿四季の宿かわはら」で委員同士の交流を深めました。

<福井県高浜町 高浜漁港>

①うみから食堂・シーフードマーケット「UMIKARA」

- うみから食堂・UMIKARA MARKET (うみからマーケット)
・「うみから食堂」では、地元の魚介類を使ったメニューが 25 種類以上あるほか、隣接する「UMIKARA MARKET」(うみからマーケット)で購入した魚介類を食べることも可能です。「UMIKARA MARKET」では、高浜漁港で水揚げされた魚介類の他、食品や生活用品も販売されており、地域住民も利用しています。
・店内には生け簀があり、刺身などに調理することが可能で、隣接する「うみから食堂」で食べることができます。



うみから食堂



若狭真鯛の漬け丼定食



UMIKARA MARKET



高浜町職員による商品等の説明



高浜町産の魚介類生鮮食品



生け簀

②はもと加工販売所

- ・元々は漁協直営の加工場があった場所に「はもと加工販売所」としてリニューアルした施設です。高浜漁港で揚がった魚介類を干物や練り物など水産加工品として加工し、販売まで行っています。



施設全景



加工場の見学



販売商品

③若狭高浜漁業協同組合荷さばき施設

- ・荷さばき施設、若狭高浜漁協事務所は令和 5 年 7 月より供用開始しています。
- ・海水導入施設（紫外線殺菌水、冷却紫外線殺菌海水、電解殺菌水）、製氷・搬氷設備も併設されています。
- ・荷さばき施設2階の見学スペースから市場内を見学することができます。壁には地域の漁業に関する説明が掲載されています。



施設全景



市場見学スペース



地域の漁業の説明

④若狭高浜漁協意見交換

- ・サイズが小さい魚でも、加工する等して余すところなく利用しているところが印象に残った。（高野委員）
- ・「UMIKARA」はとても立派な施設で道の駅のようであった。高浜町や漁協さんの力がすごくあるように感じた。（畠山委員）
- ・海を拠点にしてよくまとまっている施設だと感じた。（川口委員）
- ・町と漁協が良く連携して建設した施設だと感じるがどのように関係を構築したのか教えてほしい。（片石委員長）
- 漁協を含め漁業者は、旧施設からの移転には計画当初は猛反対であったが、話し合いを何度も重ねて信頼関係を築き、建設に至った。（高浜町・若狭高浜漁協）
- ・高浜町が事業を進めたきっかけを教えてください。（北海道開発局水産課）
- 元々海水浴客がよく来る地域であったが、年々観光客が減少し、漁獲量の減少という問題も重なり、この状況を打開するために「高浜コンパクトシティ構想」が平成 22 年 5 月に策定された。漁協の力も借りつつ施設建設に至ったが、この施設をどのように活用していくかが大切であるため、今がスタートだと考えている。（高浜町）



意見交換の様子

<福井県小浜市 内外海漁港>

ブルーパーク阿納^{あのう}

【意見交換】

- ・内外海漁港の背後の阿納地区は 13 漁家が旅館・民宿を営んでおり、これらが阿納体験民宿組合を組織し、ブルーパーク阿納を運営している。
- ・釣り堀施設の他、釣った魚を捌く施設、バーベキューを行う施設等が整備されている。
- ・魚の捌き方については紙芝居形式で壁に表示しており、民宿の女将も補助に付くがあくまで補佐するだけにして、体験者自らが捌いた達成感を得られるように工夫している。
- ・施設利用者は小中学校の修学旅行などがほとんどで、90%が中京圏からで、東京からの受け入れもある。一人ひとりに目の届く体験とするため、人数に関わらず 1 日に 1 校だけ受け入れることにしている。
- ・当漁港で養殖しているトラフグの約8割が自家消費（民宿等での料理の提供）である。



ブルーパーク阿納 施設全景



施設内部



魚の捌き方（紙芝居形式）



意見交換の様子

以上で現地調査を終了し、委員はそれぞれ帰路につきました。

委員並びにオブザーバーの皆様、高浜町「UMIKARA」ご関係者様、小浜市「ブルーパーク阿納」ご関係者様、地域マリビジョンご担当者様、この度はお忙しい中、本会議へのご出席、ご協力を賜り誠にありがとうございました。お陰様で有意義な会議・現地調査となりました。

<アンケート調査について>

会議終了後、現地調査にご参加いただいた委員の皆様を対象に、現地調査に関するアンケート調査を実施しました。お忙しい中ご協力いただき、誠にありがとうございました。

次頁に委員の皆様の声をご紹介します。

現地調査に関するアンケート調査結果

Q1. 高浜漁港（UMIKARA、はもと加工所、高浜漁協）について

①ご自身の地域で参考にできそうなことはありましたか？

- ◆私の地域では、漁協の冷凍工場の施設内に魚の直売等がありますが、あまり知られていないようなので、もっと広報活動が必要かなと感じました。
- ◆荷さばき施設には見学スペースがあり、地域の漁業の説明も貼り出してあり、いながらわかる工夫あり。食育授業の参考になりました。UMIKARAは、今は無くなった漁協購買部を思い出しました。
- ◆私の地域は観光地なので基本はできていると思うが、商店、スーパーマーケットなどの力が足りないと思った。
- ◆地元直売店がありますが、食堂等の観光客を集客できる施設等が参考になったと思います。

②高浜漁港の現地調査で印象に残ったことや感想を教えてください。

- ◆地元での実施は非現実的だと思いました。（規模がすごすぎます）
- ◆施設整備は、製氷施設、市場は組合員数に比べて我が町の方が大きいので（北海道は大きい？）ありがたかったです。何か他の利用法があるのでは？と感じました。
- ◆観光客の減少でどうにかしなくてはと、行政の努力を感じました。やはり資金源が必要です。
- ◆国や自治体が一丸となって作り上げた施設と、そこに働きかけた人たちの力もすごいと思います。

Q2. 内外海漁港（ブルーパーク阿納）について

①ご自身の地域で参考にできそうなことはありましたか？

- ◆民宿は私の地域では珍しいので、新鮮に感じました。
- ◆海業での生業を立てる！目からうろこでした。水産物の水揚げだけでなく、何かやれる事があるのではと考えました。（体験も商品になる事）
- ◆私の地域では丁度、秋鮭の漁期に修学旅行生が宿泊するので、鮭を捌いて調理を体験してもらえるのでは？と考えていて、見学してみたい所でした。少人数なら出来ると思ったが、今の状況では忙しくて…部長を辞めたら出来るかも。
- ◆地元では青少年活動施設があり、漁業に関する活動等もしているので、内外海漁港の取組もとても参考になりました。

②内外海漁港の現地調査で印象に残ったことや感想を教えてください。

- ◆地域の地形が特長の海。穏やかさにビックリ。
- ◆子供たちが自分で釣り、捌き、食べる、家に帰り親に自慢げに話している光景が浮かんだ。ここでの素晴らしい体験はずっと残っていると感じた。
- ◆魚のさばき方施設で、自分で釣った魚を自分でさばき、いただくという体験や、民宿のご主人の説明などが、魚食普及に役立つだろうと感じました。

Q3. 全体を通して

- ◆商品開発している漁協に興味があります。
- ◆高浜漁港は考え方も行っている事も大きすぎて、凄い熱量、努力、実行力を感じました。次があるとしたら、小規模だけど努力して成功されているところを見たい。
- ◆出席ができない部員のためにも、ホールでの意見交換や講演の様子を、総会や新年会でDVDで流したいです。
- ◆交流会議では皆さんの大変な苦勞、思いを伺って、自分は恵まれているといつも感じています。これからもよろしくお願いします。
- ◆今まで道内の漁業を少し知っているだけでしたが、様々な地域の方々と交流できて、とてもよい経験をしたと思います。ありがとうございました。

連絡先



マリンビジョン女性交流会議事務局

〒060-8511 札幌市北区北8条西2丁目 北海道開発局農業水産部水産課

TEL：011-709-2311（内線5579）漁港漁村係

FAX：011-709-5026

E-mail: hkd-ky-mv21@gxb.mlit.go.jp